



奈良市の現状



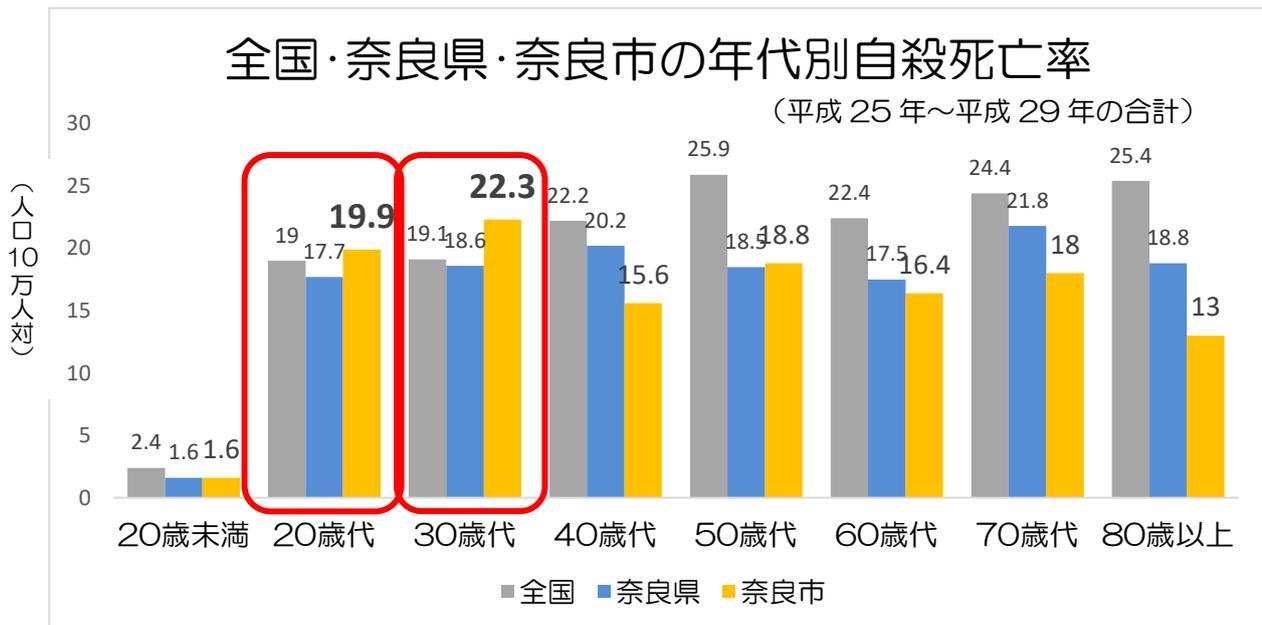
奈良県は比較的自殺者が少ない県といわれていますが、徐々に増加しています。奈良市でも、毎年40～70人の方が、自殺で亡くなっています。平成30年は51人の方が亡くなっています。

奈良市の自殺者を性別、年齢層、職業の有無、同居・独居の要素で分類すると、自殺者の多い上位5位から「60歳以上の高齢者」と「無職者」が上位を占めていることが分かります。（平成25年～平成29年の合計）

上位5区分	自殺者数	割合	自殺率*	背景にある主な自殺の危機経路**
1位 男性 60歳以上無職同居	26	9.6%	17.2	失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ）+身体疾患→自殺
2位 男性 40～59歳有職同居	26	9.6%	14.4	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位 女性 40～59歳無職同居	24	8.8%	16.8	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
4位 女性 60歳以上無職同居	23	8.5%	9.6	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
5位 男性 60歳以上無職独居	18	6.6%	80.9	失業（退職）+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺

自殺総合対策センター「地域自殺実態プロフィール(2018)」

また、各年代別の自殺死亡率を、全国・奈良県・奈良市で比較すると、奈良市は20歳代、30歳代が高いという特徴があります。



自殺総合対策センター「地域自殺実態プロフィール(2018)」

これらのことから、奈良市は「高齢者」「生活困窮者」「無職者・失業者」「子ども・若者」が自殺リスクの高い重点課題になっています。